

埼玉県下水道局簡易公募型プロポーザル方式試行要綱運用指針

(第1条関係)

埼玉県下水道局簡易公募型プロポーザル方式試行要綱を採用してプロポーザル方式により建設コンサルタントを決定できるのは、地方公営企業法施行令第21条の14第1項第2号の契約のうち性質又は目的が競争入札に適さないものに限られる。

(第2条関係)

当該委託業務の決裁権者は、埼玉県流域下水道事業財務規程（平成22年3月31日流域下水道事業管理規程第17号）第203条に準じるものとする。

(第4条関係 建設コンサルタント選定委員会)

- 1 建設コンサルタント選定委員会（以下「選定委員会」という。）の構成は次を参考とし、当該業務の決裁権者が定めるものとする。

委員長 担当課所長、副課所長

副委員長 担当外課所長、副課所長

委員 担当外副課所長、主幹級職員等

- 2 委員長は、選定委員会を総括し、委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代行するものとする。
- 3 委員会は、審査の内容について必要があるときは、関係職員の出席を求め、その説明又は意見を求めることができるものとする。
- 4 要綱及び運用指針に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は委員長が定めるものとする。

(第4条関係 資格要件及び評価基準)

- 1 資格要件の設定については、別紙1の資格要件設定例を参考に、業務内容に応じて適切に設定するものとする。
- 2 一次選定及び二次選定評価基準については、別紙2を基本とし、業務内容に応じて適正に配点するものとする。
- 3 会社及び配置予定技術者等の評価事項については、これを証する契約書、資格者証等の写しを添付させるものとする。

(第6条関係)

手続開始の公示は、別添の簡易公募型プロポーザル方式に係る手続開始の公示によるものとする。

(第7条関係)

1 技術提案書で見積りを必要とするものについては、その項目や仕様等を明記するものとする。

ただし、その項目は、積算基準及び標準歩掛のない事項に限定し、委託費の総額及びその内訳に関する見積りの依頼は行わないものとする。

2 技術提案を求める具体的なテーマは、ヒアリング時間を勘案し、提案者への過度の負担とならないようテーマ数を設定する。

3 提案は様式1号の9により1テーマA4判用紙1枚とするが、必要に応じ1テーマA4判用紙2枚とすることができるものとし、その場合は第7条の説明書において明記するものとする。

4 発注機関は、技術提案書の作成にあたり、閲覧図書がある場合は、事前に電話で予約を受け、提案者が鉢合わせしないよう配慮するとともに、閲覧時間、閲覧方法を第6条の手続開始の公示において明記するものとする。

(第8条関係)

1 選定委員会においてヒアリングを依頼する者を選定する際の参考とするため、発注機関は技術提案書の内容を審査の上、ヒアリングの依頼者として適切と考えられる者を選定し、内申書を選定委員会に様式1号により報告するものとする。

2 選定委員会は、ヒアリングを依頼する者を3から5者程度選定するものとするが、必要に応じそれ以上の者を選定できるものとする。

(第10条関係)

1 選定委員会は、1社あたりのヒアリング時間については、20分程度を目安とし、業務内容及びテーマ数に応じて適切に設定するものとする。

2 委員長は、ヒアリングを実施するにあたり、提案者同士が鉢合わせしないよう適切にヒアリング時間を設定するものとする。

(第11条関係)

選定委員会において技術提案書を特定する際の参考とするため、発注機関はヒ

アリング結果を集計し、技術提案書評価集計表を選定委員会に様式3号により報告するものとする。

附 則

この運用指針は、令和4年 9月 1日から施行する。

資格要件設定例

1 会社、管理技術者の同種又は類似業務の実績

- (1) 同種 バイオガス活用に向けた汚泥処理システムの導入検討を行った業務
類似 バイオガス活用のための汚泥処理設備の実施設計を行った業務
- (2) 同種 下水道施設の温暖化対策に関する計画策定業務
類似 下水道施設の省エネルギー又は創エネルギーに資する機械設備の設計を行った業務
- (3) 同種 日平均汚水処理水量〇〇m³以上の流域下水道の水処理施設再構築の実施設計を行った業務
類似 日平均汚水処理水量〇〇m³以上の流域下水道の水処理施設の実施設計を行った業務
- (4) 同種 焼却汚泥量〇〇 t /日以上以上の汚泥焼却設備の実施設計を行った業務
類似 汚泥焼却設備の実施設計を行った業務
- (5) 同種 日平均汚水処理水量〇〇m³以上の下水道の水処理施設の遠隔監視に係る実施設計を行った業務
類似 下水道の水処理施設の遠隔監視に係る実施設計を行った業務

2 管理技術者の資格

- (1) 技術士（上下水道部門若しくは〇〇部門）又は RCCM を取得している者

一次選定及び二次選定評価基準（案）

一次選定及び二次選定の評価は、次の評価項目・評価基準を基本として、業務内容により適正に配点するものとする。

評価項目	評価事項		配点	評価	評価点
会社の業務経歴	同種又は類似業務の実績				
	埼玉県が発注する委託業務の実績				
	委託業務の表彰の有無				
	保有する技術職員の状況				
	計		15～20		
配置予定技術者の資格等	管理技術者 ※1	資格			
		同種又は類似業務の実績			
		委託業務の表彰の有無			
		手持ち業務量			
	計		20～30		
技術提案の内容	業務内容の理解度				
	業務実施方針の妥当性				
	工程計画の妥当性				
	複数テーマ間の整合性 ※2				
	特定テーマ 1	的確性（与条件との整合性）			
		的確性（事業難易度の考慮）			
		実現性（提案内容の裏付）			
		独創性（高度の検討・解析手法）			
		独創性（既存分野の統合化提案）			
特定テーマ2以降	特定テーマ2以降は上記を準用				
計		50～65			
参考見積	妥当性の確認		確認のみ		
合計			100		

※1 照査技術者、担当技術者の評価を加える場合は、管理技術者の配点を按分するものとする。

※2 具体的テーマが複数ある場合に設定する。

各評価事項の評価は、以下に示すものを標準とし、業務内容により必要な事項を追加あるいは不要な事項を削除するものとする。

評価項目	評価事項		評価		
			A	B	C
会社の業務経歴	同種又は類似業務の実績		高度な同種の業務実績があるうち、業務における技術的特徴が当該業務の実施にあたり参考となる。	同種の業務実績がある	類似の業務実績がある
	埼玉県が発注する委託業務の実績 (地域要件)		埼玉県が発注する委託業務の実績がある	—	埼玉県が発注する委託業務の実績がない
	委託業務の表彰の有無		表彰有	—	表彰無
	保有する技術職員の状況		当該業務の規模から勘案し、経験豊富な技術職員が多い	左右に該当しない	当該業務の規模から勘案し、技術職員の経験が乏しく、又、技術職員も少ない
配置予定技術者の資格等	管	資格	必要な技術部門及び選択科目の技術士を保有	必要な技術部門のRCCMを保有	その他の資格を保有
	理	同種又は類似業務の実績	高度な同種の業務実績があるうち、業務における技術的特徴が当該業務の実施にあたり参考となる。	同種の業務実績がある	類似の業務実績がある

		委託業務の表彰の有無	表彰有	—	表彰無
		手持ち業務量	当該業務の規模から勘案し手持ち業務量が少ない	左右に該当しない	当該業務の規模から勘案し手持ち業務量が多い
技術提案の内容		業務内容の理解度	業務内容を的確に理解している	左右に該当しない	業務内容を的確に理解していない
		業務実施方針の妥当性	業務実施方針が妥当である	左右に該当しない	業務実施方針が妥当ではない
		工程計画の妥当性	工程計画が妥当である	左右に該当しない	工程計画に不備や問題がある
		複数テーマ間の整合性	複数の具体的テーマ間の整合性が高い	左右に該当しない	複数の具体的テーマ間で矛盾等がある
特定テーマ		的確性（与条件との整合性）	特定テーマと業務全体の整合がとれている	左右に該当しない	特定テーマと業務全体の整合がとれていない
		的確性（事業難易度の考慮）	特定テーマの問題点を把握しており、事業難易度に相応しい提案となっている	左右に該当しない	特定テーマの問題点を把握しておらず、事業難易度に対して提案内容が不釣り合い
		実現性（提案内容の裏付）	提案内容に裏付があり、提案内容に実現性がある	左右に該当しない	提案内容に裏付がなく、提案内容に実現性が乏しい
		独創性（高度の検討・解析手法）	工学的知見に基づく前例のない提案、周辺・異分野技術を応用した提案、新技術・高度の検討・解析手法の提案等がある	左右に該当しない	汎用的な検討・解析手法のみで、提案に工夫がみられない

	独創性（既存分野の統合化提案）	技術者の知識・経験を踏まえ、複数の既存技術を統合化する提案がある	左右に該当しない	単純な技術の羅列が提案されている
参考見積	妥当性の確認	委託予定額以下	委託予定額超（予算上対応可）	委託予定額超（予算上対応不可）

(注)

- 1 各評価項目について、一次選定においてはA、B、Cの3段階評価を原則とする。
- 2 二次選定においては1の3段階評価、又はA、A'、B、B'、Cの5段階評価とすることを原則とする。
- 3 評価点は原則として次のとおり計算する。
 $A=1.0$ 、 $A'=0.8$ 、 $B=0.6$ 、 $B'=0.4$ 、 $C=0$
(例) 評価A'、配点3点 → $3 \text{点} \times 0.8 = 2.4 \text{点}$
評価B、配点6点 → $6 \text{点} \times 0.6 = 3.6 \text{点}$
- 4 各委員の評価点の合計を比較し、最高点を特定することを原則とする。最高点が複数の場合は、委員長の評価点が高い者を特定することを原則とする。
- 5 参考見積において評価Cの場合は、その一次選定においてヒアリングを依頼する者として選定しないことができる。

簡易公募型プロポーザル方式に係る手続開始の公示（案）

次のとおり技術提案書の提出を招請します。

令和 年 月 日

発注課（所）長

1 業務の概要

- (1) 委託業務名
- (2) 委託箇所
- (3) 委託業務内容
- (4) 履行期限 令和 年 月 日
- (5) 委託予定額

2 資格要件

- (1) 埼玉県建設工事等競争入札参加資格者名簿の建設コンサルタント業務に登載されている者であること。
- (2) 次のいずれにも該当しない者であること。
 - ① 地方自治法施行令第167条の4第1項に該当する者
 - ② 埼玉県流域下水道事業財務規程（平成22年3月31日流域下水道事業管理規定第17号）第186条において準用する同規程第168条の規定により県の随意契約に参加させないこととされた者
- (3) 公示日以後に埼玉県建設工事等の契約に係る指名停止等の措置要綱に基づく指名停止を受けている期間がないこと。
- (4) 提出された書類の記載事項が虚偽でないこと。
- (5) 会社の実績として、公示を開始した日から過去○年以内に次の条件を満たす同種又は類似の業務実績があること。
 - ① 同種の業務実績
 - ② 類似の業務実績
- (6) 管理技術者の実績として、公示を開始した日から過去○年以内に次の条件を満たす同種又は類似の業務実績があること。
 - ① 同種の業務実績
 - ② 類似の業務実績
- (7) 管理技術者が次のいずれかの資格を保有していること。
 - ① 技術士
 - ② RCCM
 - ③ ○○○

3 一次選定及び二次選定基準

2の要件を満たしている者の中から、次の基準に基づいて選定する。

- ① 会社の業務実績等
- ② 管理技術者の資格及び業務実績等
- ③ 技術提案書の内容
- ④ 参考見積書

4 技術提案を求める具体的テーマ

(1) ○○○

(注) 技術提案を求める委託業務について、業務全般でなく、特に技術的検討を必要とする特定のテーマを設定する。

5 窓口・問い合わせ先

埼玉県下水道局○○課所○○担当 ○○・○○

〒000-0000 埼玉県○○市○○

電話 04○-○○○-○○○ (直通)

FAX 04○-○○○-○○○

e-mail ○○○@pref.saitama.lg.jp (代表)

6 手続き

(1) 説明書の交付期間、交付場所及びその方法

- ① 交付期間 令和○年○月○日から令和○年○月○日まで
- ② 提出場所 5に同じ。
- ③ 方法 希望者に直接交付する。

(2) 技術提案書の提出期限、提出場所及びその方法

- ① 提出期限 令和○年○月○日午後○時まで
- ② 提出場所 5に同じ。
- ③ 提出方法 詳細は説明書による。
- ④ その他 当該業務に係る参考見積を提出すること。

(3) 閲覧図書、閲覧場所及びその方法

- ① 閲覧図書 ・○○○
・○○○
- ② 閲覧場所 5に同じ。
- ③ 閲覧方法 詳細は説明書による。

7 技術提案書提出後の予定

- (1) 一次選定の有無
- (2) ヒアリング予定日

8 その他

詳細は説明書による。

(埼玉県下水道局簡易公募型プロポーザル方式試行要綱運用指針関係)
様式1号

内 申 書

令和 年 月 日

_____様

業務委託に係る技術提案書の提出を依頼する業者を、技術提案書評価表を添えて下記のとおり内申します。

記

- 1 委託業務名
- 2 委託箇所
- 3 推薦業者

番号	商号又は名称	代表者役職・氏名	住所
1			
2			
3			
4			
5			

技術提案書評価集計表

業者名		〇〇社										××社										△△社										□□社										☆☆社																
評価項目	評価事項	配点	委員長		副委員長		〇〇委員		△△委員		××委員		平均	委員長		副委員長		〇〇委員		△△委員		××委員		平均	委員長		副委員長		〇〇委員		△△委員		××委員		平均	委員長		副委員長		〇〇委員		△△委員		××委員		平均												
			評価	評価点	評価	評価点	評価	評価点	評価	評価点	評価	評価点		評価	評価点	評価	評価点	評価	評価点	評価	評価点	評価	評価点		評価	評価点	評価	評価点	評価	評価点	評価	評価点	評価	評価点		評価	評価点	評価	評価点	評価	評価点	評価	評価点	評価	評価点		評価	評価点										
会社の業務経歴	同種又は類似業務の実績											#DIV/0!												#DIV/0!																					#DIV/0!													#DIV/0!
	埼玉県が発注する委託業務の実績											#DIV/0!												#DIV/0!																								#DIV/0!										
	委託業務の表彰の有無											#DIV/0!												#DIV/0!																								#DIV/0!										
	保有する技術職員の状況											#DIV/0!												#DIV/0!																								#DIV/0!										
	計	0	#DIV/0!										#DIV/0!										#DIV/0!										#DIV/0!										#DIV/0!															
配属予定技術者の資格等	管理技術者	資格										#DIV/0!												#DIV/0!																									#DIV/0!									
		同種又は類似業務の実績											#DIV/0!												#DIV/0!																								#DIV/0!									
		委託業務の表彰の有無											#DIV/0!												#DIV/0!																								#DIV/0!									
		手持ち業務量											#DIV/0!												#DIV/0!																								#DIV/0!									
	計	0	#DIV/0!										#DIV/0!										#DIV/0!										#DIV/0!										#DIV/0!															
技術提案の内容	業務内容の理解度											#DIV/0!											#DIV/0!																									#DIV/0!										
	業務実施方針の妥当性											#DIV/0!												#DIV/0!																									#DIV/0!									
	工程計画											#DIV/0!												#DIV/0!																									#DIV/0!									
	複数テーマ間の整合性											#DIV/0!												#DIV/0!																									#DIV/0!									
	特定テーマ1	的確性(与条件との整合性)											#DIV/0!												#DIV/0!																									#DIV/0!								
		的確性(事業難易度の考慮)											#DIV/0!												#DIV/0!																									#DIV/0!								
		実現性(提案内容の裏付)											#DIV/0!												#DIV/0!																								#DIV/0!									
		独創性(高度の検討・解析手法)											#DIV/0!												#DIV/0!																								#DIV/0!									
		独創性(既存分野の統合化提案)											#DIV/0!												#DIV/0!																									#DIV/0!								
	特定テーマ2	的確性(与条件との整合性)											#DIV/0!												#DIV/0!																									#DIV/0!								
		的確性(事業難易度の考慮)											#DIV/0!												#DIV/0!																								#DIV/0!									
		実現性(提案内容の裏付)											#DIV/0!												#DIV/0!																								#DIV/0!									
		独創性(高度の検討・解析手法)											#DIV/0!												#DIV/0!																								#DIV/0!									
		独創性(既存分野の統合化提案)											#DIV/0!												#DIV/0!																								#DIV/0!									
	特定テーマ3	的確性(与条件との整合性)											#DIV/0!												#DIV/0!																								#DIV/0!									
		的確性(事業難易度の考慮)											#DIV/0!												#DIV/0!																								#DIV/0!									
		実現性(提案内容の裏付)											#DIV/0!												#DIV/0!																								#DIV/0!									
独創性(高度の検討・解析手法)												#DIV/0!												#DIV/0!																								#DIV/0!										
独創性(既存分野の統合化提案)											#DIV/0!												#DIV/0!																								#DIV/0!											
計	0	#DIV/0!										#DIV/0!										#DIV/0!										#DIV/0!										#DIV/0!																
合計	0	#DIV/0!										#DIV/0!										#DIV/0!										#DIV/0!										#DIV/0!																
参考見積(妥当性の確認)	委託予定額		委託予定額以下										委託予定額以下										委託予定額以下										委託予定額以下										委託予定額以下															
順位		#DIV/0!										#DIV/0!										#DIV/0!										#DIV/0!										#DIV/0!																